

医療と福祉

| | | | |
|--------------|---|--------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 人間科学科心理学・行動科学分野 相澤 文恵 教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 人間科学科心理学・行動科学分野、神経精神科学講座、地域包括ケア講座、救急・災害・総合医学講座災害医学分野、人間科学科体育学分野、成育看護学講座、医療福祉相談室、教養教育センター | | |
| 担当教員 | 相澤 文恵 教授、藤澤 美穂 講師、八木 淳子 講師、眞瀬 智彦 教授、佐々木 亮平 助教、最上 玲子 講師、相馬 一二三 非常勤講師、小野澤 章子 非常勤講師、高橋 智幸 非常勤講師、杉浦 剛 非常勤講師、澤口 るり子 非常勤講師、澤口 眞規子 非常勤講師、近藤 昭恵 医療福祉相談室総括課長 | | |
| 対象学年 | 1 | 区分・時間数 | 講義 21 時間 |
| 期間 | 前期 | | |

・学習方針（講義概要等）

少子高齢化が進み、疾病構造が大きく変化した現代社会において、医療と福祉は密接なかかわりを有するようになった。本科目では、医療人を目指す立場から多角的に医療と福祉について考察することを目的とする。医学、歯学、看護学、社会福祉学、社会学等の専門家による講義から、わが国における社会保障制度、障害者福祉、ソーシャルワークについて理解し、多職種連携によるチーム医療・地域医療の実践について知見を深める。

・教育成果（アウトカム）

福祉の定義とその精神を理解することによって、自らの医療人イメージに福祉を組み込むことができる。また、わが国の社会保障制度、障がいの種類とそれぞれに必要なケアについて学修し、専門知識を学ぶ上での土台を形成することができる。さらに、地域包括ケアシステムの理念と医療現場における社会福祉の実際、地域社会・在宅医療の実際例を学修することによって、チーム医療実践の導入基盤を形成することができる。

（ディプロマポリシー：1,2,6）

・到達目標（SBO）

1. 福祉の倫理と意義について理解を深めることができる。
2. 医療と福祉の密接なかかわりについて理解を深めることができる。
3. 現代社会における福祉制度と政策を理解することができる。
4. 地域包括ケアシステムについて理解することができる。
5. チーム医療における福祉の観点を理解することができる。
6. 地域医療における福祉の在り方の基本的なことがらを理解することができる。
7. 災害時医療における福祉の在り方の基本的なことがらを理解することができる。

・ 講義日程
【講義】

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容/到達目標 |
|------|----|----|------------------------|--------------------------|---|
| 4/22 | 金 | 4 | 心理学・行動科学分野 | 相澤 文恵 教授 | <p>現代社会と福祉（1）</p> <p>1.福祉の理念について説明できる。 2.社会福祉の変遷について説明できる。 3.現代社会における医療、保健、福祉の関りについて説明できる。</p> <p>事前学習：自らが持つ「福祉」のイメージを A4 版レポート用紙に 300 字程度にまとめ、初回講義時に提出する。 事後学習：課題テーマについて復習する。</p> |
| 4/28 | 木 | 2 | 教養教育センター 心理学・行動科学分野 | 相馬 一二三 非常勤講師 相澤 文恵 教授 | <p>現代社会と福祉（2）</p> <p>1.地域社会の変化、保健・医療・福祉の動向を踏まえ、高齢者福祉のあり方について説明できる。</p> <p>事前学習：高齢者福祉としてどのようなことが実際にされているのか予習をしてくる。 事後学習：課題テーマについて復習する。</p> |
| 5/6 | 金 | 4 | 医療福祉相談室 心理学・行動科学分野 | 近藤 昭恵 総括課長 相澤 文恵 教授 | <p>地域と福祉（1）</p> <p>1.病院におけるソーシャルワークについて説明できる。</p> <p>事前学習：病院のホームページから医療福祉相談について調べる。 事後学習：課題テーマについて復習する。</p> |
| 5/12 | 木 | 2 | 心理学・行動科学分野 | 藤澤 美穂 講師 | <p>現代社会と福祉（3）</p> <p>1.身体障害、知的障害、精神障害について説明できる。 2.子どもへの福祉的支援について、必要な視点を述べることができる。 3.障がい児・者や子どもを支援する援助職の役割を述べることができる。</p> <p>事前学習：自分の出身地の「福祉事務所」とその所在地を調べる。障がい児・者に関わる援助職を 7 つ以上挙げられるよう調べる。</p> |

| | | | | | |
|------|---|---|------------------------|-------------------------|---|
| | | | | | 事後学習：課題テーマについて復習する。 |
| 5/19 | 木 | 2 | 教養教育センター 心理学・行動科学分野 | 高橋 智幸 非常勤講師 藤澤 美穂 講師 | <p>地域と福祉(2)</p> <p>1.障害者を取りまく状況に関して今日までの経緯を学び、障害者への福祉制度の変遷と現状について説明できる。</p> <p>2.障害者の相談支援について理解し、地域における支援に必要な視点と方法を述べるができる。</p> <p>事前学習：現代社会と福祉(2)の配布資料を確認し、地域における障害者支援について講義で確認すべきポイントを調べる。</p> <p>事後学習：提出物の記述事項に不足がなかったか確認する。</p> |
| 5/26 | 木 | 2 | 体育学分野 | 佐々木 亮平 助教 | <p>地域と福祉(3)</p> <p>1.健康格差社会について説明できる。</p> <p>2.実例をもとにしてヘルスプロモーションについて説明できる。</p> <p>事前学習：地域における健康増進活動の例を調べる。</p> <p>事後学習：課題テーマについて復習する。</p> |
| 6/2 | 木 | 2 | 災害医学分野 | 眞瀬 智彦 教授 | <p>地域と福祉(4)</p> <p>1.災害医療における福祉の役割について理解できる。</p> <p>事前学習：災害時医療の例を調べる。</p> <p>事後学習：課題テーマについて復習する。</p> |
| 6/10 | 金 | 5 | 神経精神科学講座 | 八木 淳子 准教授 | <p>現代社会と福祉(4)</p> <p>1.発達障がいの種類と介入・治療について説明できる。</p> <p>事前学習：現代社会と福祉(2)の配布資料を確認し、発達障害の位置づけを確認する。</p> <p>事後学習：課題テーマについて復習する。</p> |

| | | | | | |
|------|---|---|------------------------|--------------------------|--|
| 6/16 | 木 | 2 | 教養教育センター 心理学・行動科学分野 | 澤口 真規子 非常勤講師 相澤 文恵 教授 | 地域と福祉 (5) 1.地域包括ケアシステムについて説明できる。 事前学習：これまで学んだ高齢者福祉、障害者福祉の講義資料を読み返しておく。 事後学習：課題テーマについて復習する。 |
| 6/23 | 木 | 2 | 成育看護学講座 | 最上 玲子 講師 | 現代社会と福祉(5) 1.ボランティア活動の実際について説明できる。 事前学習：地域におけるボランティア活動の例を調べる。 事後学習：課題テーマについて復習する。 [A-4-2)-①] |
| 6/30 | 木 | 2 | 教養教育センター 心理学・行動科学分野 | 杉浦 剛 非常勤講師 相澤 文恵 教授 | 地域と福祉(6) 1.訪問歯科診療の実際について説明できる 事前学習：訪問歯科が利用されている場面を調べる。 事後学習：課題テーマについて復習する。 |
| 7/7 | 木 | 2 | 教養教育センター 心理学・行動科学分野 | 澤口 るり子 非常勤講師 相澤 文恵 教授 | 地域と福祉(7) 1.訪問看護の実際について説明できる。 事前学習：訪問看護が利用されている場面を調べる。 事後学習：課題テーマについて復習する。 |
| 7/15 | 金 | 4 | 教養教育センター 心理学・行動科学分野 | 小野澤 章子 非常勤講師 相澤 文恵 教授 | 現代社会と福祉(6) 1.現代日本における生命／生活に関する諸問題を、社会学の視点から説明できる。 事前学習：社会学とはどんな学問であるかを調べる。 事後学習：課題テーマについて復習する。 |

| | | | | | |
|------|---|---|------------|----------|--|
| 7/21 | 木 | 2 | 心理学・行動科学分野 | 相澤 文恵 教授 | <p>まとめ 1.医療人としての福祉への関わりかたについて説明できる。</p> <p>事前学習：これまでの講義で配布された資料を確認し、まとめの準備をする。 事後学習：科目全体を復習し、自らの医療人としてのイメージに福祉を組み込む。</p> |
|------|---|---|------------|----------|--|

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

| 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|--------------------|-----|-----|-----|
| 登録済の教科書・参考書等はありません | | | |

・成績評価方法

受講態度 10%、各回の提出物 60%、レポート 30%によって評価する。評価基準は初回講義時に提示する。

・特記事項・その他

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認すること。オムニバス形式の講義から得た幅広い知識を身に着けるため、毎回の講義内容について確認問題を WebClass に提出する。解説とフィードバックは Webclass にて行う。

また、各講義担当者が提示した課題の中から 1 題を選択してレポートを作成し、WebClass で提出することを求める。フィードバックは WebClass にて行う。

本科目は「医療と福祉」について、「現代社会と福祉」と「地域と福祉」の 2 面からアプローチするように系統立てている。各授業に対する事前・事後学修は各回の講義内容／到達目標に示すように行う。時間はそれぞれ最低 30 分とする。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|--------------------------------|----|---------|
| 講義 | ノート型 PC (Safari pro FJY-00014) | 1 | 講義資料の提示 |
| 講義 | デスクトップ型 PC (EPSON MR4800E) | 1 | 講義資料の作成 |
| 講義 | 書面カメラ・DVD プレーヤセット | 1 | 資料の提示 |